

ときめき人

Tokimeki bito



心をほぐし 笑顔を引き出す 医療・介護×美容

迫町・舟橋

柴田 璃依さん

しばた りえ
1973年生まれ 血液型/A型

Profile

豊里町出身。夫と娘、息子+愛犬の5人家族。感謝の心を忘れずいつもポジティブ。心と体が元気になるアットホームな自宅サロンを営みながら、介護美容などの研鑽と普及啓発に日々力を注ぐ。



高齢者向けの施術や講座も行います。エステティックサロン「BIRTHDAY・EVE」ホームページ

がん治療の過程で生じた外見の変化に対して、医療用ウィッグの相談、ハンドケアやメイクレッスンなどを行い、患者の体と心の支援をする「アピアランスケア」。柴田さんは、エステティシャンとしてサロンを経営する傍ら、3年前から石巻市赤病院プレストセンターで全国でも珍しい美容部門スタッフとして、アピアランスケアを行っている。

高齢者施設でのメイク講座やハンドセラピーなど、「介護美容」にも積極的に取り組んでいた柴田さんは、ある時、友人のがん闘病に直面した。このことをきっかけに、「病気で苦しみ、悩む人たちに少しでも手助けしたい」という強い思いが芽生え、「メディカルビューティエイド(医療機関認定エステティシャン)」として新たな領域に飛び込んだ。

院内では、マッサージや美容アドバイスなどを行う。センターへ来るのが困難な人のため病棟でケアすることも多い。「最初は、患者さんに向き合うことへの不安で気持ちが落ち込むこともありましたが、周りの人たちからの支えと、施術後の皆さんの笑顔に私のほうが元気をもらっています」

「この仕事は、まだまだ認知されていないのが現状です。これからの世代の子どもたちに、介護や医療と連携した美容の介入の場があること、この仕事の必要性を知ってもらうきっかけになれば」と、市内中学校のキャリアセミナーに出向く柴田さん。秋からは、通信制高校で美容講師も務める。

「広報に載ることも私の使命。多くの人に伝えたい」その目は、志に満ちあふれている。

編集後記

▼全国で活躍した選手たち取材。仙台育英学園の2人と話し、インタビュアーの回答一つ一つが本心に心に響きました。絶え間ない努力があったからこそその結果。全国で得た経験は、さまざまな場面で生かすことができます。登米市のアスリートのさらなる活躍を願っています。(白石)

▼古文書調査の現場に伺いました。400年の月日は丈夫な和紙を想像以上にもろくさせていることに驚くと共に、過去の出来事を未来へつないでいく大切な作業だと感じました。武将隊の常長さんは歴史講座を主催しています。興味のある人は参加してはいかがでしょう。(佐々木)

▼10月から登米市もスマホ納税ができるように。みやぎキャッシュレス推進ポイント還元やマイナポイントなど、キャッシュレス決済でのお得なサービスも続々登場しています。かくゆう私もいまだに現金派。この機会に時代の波に乗ってみようと思います。(渡邊)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。)<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>